

# 次世代分子標的薬の マルチステップシミュレーション

## 児玉 龍彦 先生

東京大学 先端科学技術研究センター  
システム生物医学分野教授  
東京大学 アイソトープ総合センター長

平成26年1月10日[金] 17:00～

大塚記念講堂 2階 小ホール

児玉龍彦先生は、マクロファージに存在するスカベンジャー受容体を発見され、この受容体と動脈硬化の関連について先駆的な研究を行ってこられました。現在は、システム生物医学の見地から、マイクロアレイ解析やChIP-Seq解析から得られた膨大な情報をもとに、癌や生活習慣病の発症機構について研究を進めておられます。さらに最近では、スーパーコンピューターによる分子間相互作用のシミュレーションを駆使し、新たな分子標的薬の開発にも着手されています。本講演会では、児玉先生に最新の研究成果をご講演を頂きます。

問合せ先: 疾患プロテオゲノム研究センター蛋白質発現分野  
篠原康雄 (9145、yshinoha@genome.tokushima-u.ac.jp)

主催: 疾患プロテオゲノム研究センター

共催: 薬学部 (創薬人育成のための創薬実践道場教育 構築事業)